

わたしの好きな よこい

No.178

梅の花の香りで春を実感する方もいるのではないのでしょうか。近くを歩くだけでほのかな香りが漂ってきます。写真は末野地内にある梅園です。ここにはおよそ30本の梅の木があり、毎年3月には満開の梅の花が迎えてくれます。初夏に収穫できる実は、漢方薬や梅酒、梅ジュースとして活用され、この梅園で採取された実は寄居町農産物加工研究会の皆さんにより、梅ジュースとして加工・販売されています。

また、生活へのかかわりも深く、5月から7月の雨の多い時期を「梅」の文字を使い「梅雨」と呼んだり、梅干を作るときに梅と塩の加減がうまくいったことから「塩梅」という言葉ができたりしています。

梅の花の香りを楽しみながら、春の訪れを感じてみてはいかがでしょうか。



<春の訪れ～末野の梅園>



「折原いこい館」が完成しました!



折原地区環境対策協議会
松本愛之助会長

折原地区環境対策協議会では、折原地域における環境活動の拠点となり、併せてコミュニティ活動の中心施設として有効に活用できる施設の建設を検討してきました。そして今年度、町の補助を受けて事業に着手し、施設が完成しました。

折原地区環境対策協議会会長の松本愛之助さんは「皆様のご協力のおかげで立派な施設が完成しました。この施設名称は、多くの皆さんが集まり、憩える施設となることを願って名付けました。今後、環境活動やコミュニティ活動はもとより、選挙の投票所や防災拠点としても使われる予定です。この施設が、皆さんに愛され、有意義に利用していただけることを願っています」と話してくれました。

なお、4月から皆さんに使っていただけるよう、現在準備を進めているとのことです。

※折原地区環境対策協議会とは…埼玉県環境整備センター、彩の国資源循環工場および周辺の事業に関し、公害防止、生活環境と自然環境保全、循環型社会の形成促進および地域の発展に寄与することを目的として、折原各地区の代表者で組織された団体です。